

■青井忠治 月賦販売の(丸井)を創業、(敗戦)後、若者ショッピングへと発展させ、クレジット社会の先鞭に。

あおいちゆうじ

日露戦争始・1904＝ 富山県小杉で、旧家の分家青井伊八郎・うたの一人息子に生まれる。

日露戦争終・1905＝ 1歳：父が事業破綻したため、母と離別させられ、

満鉄発足・1906＝ 2歳：麻疹に罹り左目を失明、

明治天皇没・1912＝ 8歳：

大正政変・1913＝ 9歳：

第一次大戦始1914＝10歳：離別したままになっていた母が死去。

21ヶ条要求・1915＝11歳：結核になっていた父も死去。

民本主義・1916＝12歳：小杉尋常高等小学校尋常科を卒業、

本格政党内閣1918＝14歳：同高等科を卒業。

原敬首相暗殺1921＝17歳：

水平社結成・1922＝18歳：富山県立工芸学校を卒業、上京して、新宿の月賦販売業(丸二商店)に就職。

関東大震災・1923＝19歳：就職直後実家が火事で全焼。大震災後、大いに家具が売れるなか、瞬く間に頭角を現し、

護憲三派圧勝1924＝20歳：大塚支店長、

治安維持法・1925＝21歳：本店の集金部長、

共産党事件・1928＝24歳：中野店長、

海軍軍縮条約1930＝26歳：浅草店長を経て、九段店長になった後、

満州事変・1931＝27歳：\*中野店を譲り受けて、独立。

芥川直木賞始1935＝31歳：阿佐ヶ谷支店を開設するとともに、商号を(丸二と青井組合せた)(丸井)と改める。

二二六事件・1936＝32歳：店舗を新設。

日中戦争始・1937＝33歳：株式会社に改組。

第二次大戦始1939＝35歳：吉祥寺支店を開設するなどして、大々的に展開しようとした矢先、

大政翼賛会・1940＝36歳：

日米開戦・1941＝37歳：日米開戦による商業活動規制で全5店舗を閉鎖を余儀なくされ、

長野県伊那に疎開して、

敗戦・1945＝41歳：敗戦を迎えると、すぐに上京して事業再開するも、中野本店が不法占拠されたため、

新憲法公布・1946＝42歳：仮店舗を設け、家具専門の小売店丸井として再出発。

新憲法施行・1947＝43歳：中野本店を再興。

極東裁判決・1948＝44歳：西荻窪店・新宿駅前店を開設。

三大事件・1949＝45歳：下北沢店開設。

朝鮮戦争始・1950＝46歳：新宿三光町開設。\*月賦販売を再開、

独立回復・1951＝47歳：

マーチン事件・1952＝48歳：池袋駅前店・立川店を開設。

自衛隊発足・1954＝50歳：労働組合が結成される。

55年体制始・1955＝51歳：福德信用組合理事長。自由が丘店開設。テレビ宣伝広告を開始。

国連加盟・1956＝52歳：中野区富山県人会会長。

なべ底不況・1957＝53歳：西小山店開設、

ウエストマン・1958＝54歳：新宿西口店・渋谷店を開設。紺綬褒章。

美智子妃・1959＝55歳：丸井広告事業社設立。全国月賦百貨店連合会会長。

安保闘争・1960＝56歳：\*クレジットの丸井に呼称変更し、日本初のクレジットカードを発行するとともに、以降、毎年数店舗を開設して、飛躍的に事業が拡大して行く。

全国総合計画1962＝58歳：業界最大の新宿店を開設。

TV宇宙中継始1963＝59歳：東京証券取引所2部上場。

東京リビック1964＝60歳：開設した柏店で、業界初のカード払いを導入。テレビの番組スポンサー開始。

大学紛争始・1965＝61歳：東京証券取引所1部に昇格。

いざなぎ景気1966＝62歳：業界初のコンピュータ導入。藍綬褒章。

美濃部都知事1967＝63歳：富山市に青井スポーツハウスを寄贈。

霞ヶ関ビル・1968＝64歳：全店でカード払いシステム採用など、

大阪万博・1970＝66歳：年間売上高で緑屋を抜き、\*月賦業界トップになる。

日中国交回復1972＝68歳：社長を子忠雄に譲って、会長に退き、

石油ショック1973＝69歳：東京商工会議所中野支部初代支部長に就任する一方、私財を投じて青井奨学会を設立、

角栄金脈辞任1974＝70歳：業界初のPOSオンライン信用照会システムがスタートさせて、

クランブル事件1975＝71歳：没した。

インターネット、